



発行所：岐阜市長良西後町
岐阜県立長良高等学校 同窓会
TEL (058) 231-1186
印刷：(有)プリンテックス

長良高等学校
ホームページ

同窓会コーナーに
アクセスしよう

長良高校 で 検索

http://school.gifu-net.ed.jp/nagara-hs/

”若返った 同窓会執行部“

同窓会長 辻 修 (9期)



この度の東日本大震災

により、被災されました多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。この未曾有の大災害に接し、我々もできる限りのご支援をしたいと存じます。今回の震災では、日本国内はもとより、世界の多くの国々から支援援助と共に、応援のメールが送られました。或る新聞は、「日本がこの災害に対し、尊敬すべき忍耐力で立ち向かっている」「地震の挑戦を受けて立つ日本」と掲載するなど、秩序だてて助け合い、逆境に立ち向かう日本の姿に、世界中の多くの国々の報道が日本

の復興を後押ししてくれております。日本が今回の難局を乗り越え、未来への再生を果たしていくため、私たち一人一人が今何をするべきかを考え、行動を起こす時です。さて、平成二十二年六月二十日岐阜都ホテルで行われました総会において、勝孝文前会長から、バトンを引き継ぎまして一年が経過いたしました。

私の使命は、同窓会の若返りです。五十才代の新執行部は順調に動き出しました。あと一年もすれば、活性化された同窓会になるでしょう。また、学校のご理解とご協力により、長良高校のホームページをお借りして、同窓会のコーナーをオープンすることができました。同窓会の会議は学校で行う。同窓会の資料室を整備等改善できました。活動計画に掲げました目標を、私に残された一年間に進めてまいります。引き続きご指導やご助言をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

よろしくおねがいします

学校長 窪田 範男



同窓会の皆様には本校の充実・発展のために格別のご理解・ご支援を賜り心よりお礼申し上げます。このたびの異動により、柴田益孝校長先生の後任として、華陽フロンティア高校から転任してまいりました。どうかよろしくお願いたします。本校の卒業生総数は、平成二十三年春の卒業生を含めると、二万六千十

三名となっております。一昨年十一月十四日に創立六十周年記念式典が開催されましたが、幸運にも私はその式典に出席させていただくことができました。校門を通り抜けて駐車場に車を止め、車から降りようとしたら、生徒さんが私に近づいてきました。駐車する場所が違っていたのかなと思いましたが、「受付までご案内します」と、誘導していただきました。そのすがすがしい気配りと思いやりに感動するとともにどのようでしたら、このように生徒を育てる

ことができるとかと思っていました。今年の初め、初詣に近くのお寺にお参りに行つて、次のような有難いお説教を頂いてきました。近年、物は豊かになりましたが、心に信ずるものをもたない貧しさや空しさを感じます。物とお金が優先して、心が置き去りにされているのではないですか。自分本位な考えが無責任・無関心となり、人々はお互いに孤立して人間の温もりも忘れかけています。おかげさまでという感謝の気持ちで精一杯生きる生活が、やがて私たちの幸せに通じて行くのです。私たちはみんな、決して、自分勝手に生きられるのでは

ありません。父や母に、この上ない愛をもって育てられ、天地のめぐみを受け、社会に支えられ、こうして生きているのです。いや、生かされているのです。同窓会のお力をお借りして、思いやりの心をもつた生徒を育てていきたいと思つております。今後とも、ご支援をよろしくお願いいたします。

平成22年度年会費納入状況

期	口数	期	口数	期	口数	期	口数
1	13	17	43	33	19	49	1
2	35	18	27	34	13	50	3
3	58	19	38	35	21	51	6
4	73	20	30	36	5	52	2
5	61	21	25	37	11	53	5
6	64	22	42	38	16	54	1
7	56	23	31	39	18	55	6
8	65	24	58	40	3	56	11
9	94	25	104	41	16	57	4
10	75	26	23	42	6	58	4
11	70	27	21	43	5	59	21
12	79	28	42	44	2	60	13
13	21	29	24	45	3	61	27
14	50	30	71	46	3	その他	10
15	32	31	411	47	2		
16	52	32	35	48	0		

H23.3.31現在 合計 2180口

年会費納入のご協力をお願いします

●趣旨 この「ながれ」は長良高校同窓生二万二千五百余名に送付されています。その費用として毎年送料を含め二百三十万円程必要になります。現在の納入状況では全員への送付が不可能になります。どうか、お一人千円以上の年会費を納入してください。

●金額 千円以上(二口千円を一口以上)でお願いします。

◆納入方法 「ながれ」に同封する振込用紙にて納入して下さい。

NAGARA ~18歳に帰れる日~

卒業して、はや30年が経ちました。今年のメインホストは私達32期が務めます。私達は昭和53年に入学しました。当時の長良高校の風景といえば、大正造りの荘厳な校舎、中庭の洗心園、国体仕様の格技館、窓から見える金華山、駐車場にはいつも同じ場所に少し色褪せたブルーボード etc. 自由な校風の中、のびのびとスポーツ・勉強に励んだ高校時代。そして「開拓者魂」を胸に刻んで巣立った18歳の春。今年の懇親会テーマは「18歳に帰れる日」としました。どの世代であっても、ここに集まれば懐かしい青春の時を思い出せるよう、私達が手作りで皆様をお迎えします。サポートホスト期は、2・12・22・42・52期、ホスト期は33・34期の皆さんです。ぜひ多数の方の参加を心よりお待ちしております。

懇親会実行委員長 国島太佳生 (32期)

出席予定の恩師の方々：井尾春雄、尾関孝彦、河瀬孝夫、倉部規子、小森良一、近藤俊二、島尻尚子、篠田文子、橋本肇、牧野貞臣、三輪喜久子、築田英夫 (敬称略) その他の先生にもご案内しております。

■日時：平成23年6月19日(日)
受付 11:30~
総会・懇親会 12:00~15:00

■場所：岐阜グランドホテル
地下1F ロイヤルシアター
(岐阜市長良川畔 TEL. 058-233-1111)

■会費：一人 8,000円 学生 4,000円
家族割引 *家族なら二人目から
; 一人 7,000円 学生 3,000円

■申込：6月2日(木)まで (同封の振込用紙にて)

平成23年度 長良高校同窓会 総会・懇親会



楽しかった昨年度 総会・懇親会

平成22年6月20日(日)
岐阜都ホテル 2階ボールルーム



懐かしい歌をみんなで口ずさみました



復活バンド“サーティワンス”



華やいた懇親会に話はずみずみ



総会にて議案を審議、新しい執行部が承認されました



31期応援団も復活! 会場全員で校歌を熱唱!



文化祭の頃を思い出し、復活バンドを楽しむ参加者



陸上黄金期を映像で紹介

みなさんに 「感謝」

川崎 久司 (31期)
昨年度メインホスト期代表

我々三十一期生(昭和五十四年度卒業生)がメインホストを務めた昨年度の全体同窓会には、世代を超えた多くの卒業生とお世話になった恩師の方々にご参

加いただき、皆様のおかげで盛大に楽しいひと時となりました。卒業生として生涯一度きりの大役を果たすことができ、我々同期生は感無量の思いでいっぱいです。

卒業して三十年ぶりに再開した三十一期生一同はそれぞれのかわり方で少しずつの思いをつなぎこの同窓会で一つになることができました。

まさに高校時代、青春時代に舞い戻ったかのような躍る思いがで感謝でいっぱいです。振り返ると準備を進めるに当たり、前年度の記念大会に劣らないほどの企画をという思いがプレッシャーになりましたが、三十一期生らしく我々自身でできることをしようと三年生当時の文化祭で大変盛り上がったバンドを再結成し、復活ライブをしようとのアイデアが出され、当時の懐かしい曲を演奏してみようということになりました。以来何度も練習を重ねメンバーの頑張りもあり、見事! 復活、まさに手作り!、会場を大いに盛り上げることができたと思います。

また、女性からは、結婚して、岐阜を出てから、母校も遠くなっていました。同窓会から、同級生、先輩、後輩とも連絡が取れるようになり、交流もさかんなったとの声も寄せられました。まさに私たちがテーマにした「感謝」が表現できたと思います。三十一期生のみならず、みんながと。

最後になりましたが、この充実した思いができたのも勝峯孝文前同窓会長、辻修新同窓会長をはじめ歴代の諸先輩方と陸上黄金期の先輩方のご厚情や三十期の先輩方にご指導をいただきましたこと、現在の学校の様子を参加者の皆さんにご紹介できたのは取材に対し柴田益孝学校長の多大なるご協力があったからこそここに深く感謝し、心よりお礼申し上げます。

長良高校コーラスクラブ OB会のご案内



長良高校コーラスクラブOB会の同窓会を、下記のように開催します。創立六十年間にわたり活動をし、今日まですばらしい指導者に恵まれ、多くの生徒が歌い続けられました。

■日時 平成23年6月19日(日) 午後3時30分より
■場所 岐阜グランドホテル
■会費 4,500円
※当日は長良高校同窓会全体の総会・懇親会が12時から開催されます。
※出席については各学年の幹事が事前にお尋ねします。
※連絡先 OB会長 浅野晃一郎 電話・FAX 058-251-4839

今回その仲間が一同に集い、旧友を温め合い、校歌などを歌いたいものです。是非、声を掛け合って多くのご参加をお願いします。

「ながれ」へ提言

岩本 岳夫 (8期)



「ながれ」に一篇をというので、書いた。提言と受け止めていただきたい。母校・長良高校にはいつの時代にも頼もしく光っている。その願いを実現させる第一歩は会報「ながれ」の改革に始まるのではなからうか。

「官報」から抜け出せないかと呼びかけた。担当者が依頼した原稿ではなく、原稿は会員の自主的投稿をベースにしていく挑戦はいかがだろうか。第四十二号には、たまたま同期の藤田敦が「遠く」にありて、想うところの一文が載っていたが、こうした筆者の情感あふれた文章、個々の生活体感が伝わる情報——といった原稿が長短あふれると、読み手、つまり会員の注目する会報になるのではないかと思う。八期の一部に『イレブン』なる集いがある。毎月一回、酒を飲んで散会するだけの集りだが、誕生は卒業直後というから半世紀を超える。体調を崩して旅立ちたり、事業につまづき立ち去ったものもある。定年を過ぎ、故郷に帰ったのを機に加わった者もあつて、今では岐阜の街で飲み、語るのを楽しみにしている。この集いは膨らみ、かつてのマドンナにもお集まり願う「八笑会」もできた。こちらの恒例行事は月一のゴルフ。シング

～「ながれ」の記事を募集しています～
広報委員会では「ながれ」に掲載する記事を募集しています。学年同窓会や部活動OB会のお知らせ・報告、長良高校同窓生による趣味の同好会メンバー募集や展示会のお知らせなど、他にも作品の誌上発表などいろいろ活用していただきたいと思っています。
●福井雅一(広報委員長)
連絡先: 〒500-8878 岐阜市神室町2-8

ル級もダブルスコア組も互いに頑張つては「ナイス・ショット」と声を掛け合っている。こうした情報が、学年、期を越えて流れるようになったら、と思う。これも「ながれ」四十二号に十九期生で野球部OB会長の井納誠さんが書いた「甲子園で校歌を！」の願望実現に繋がると思う。同窓会に元気が出れば、甲子園での校歌がNHKの電波に乗って全国に響くのも夢ではなくなる——よね。

- ### “お慶びの方々”
- ◆平成22年11月3日 秋の叙勲
 - 旭日中綬章(鉄道事業功労) 元名古屋鉄道(株)副会長 関谷崇夫(1期)
 - 瑞宝双光綬章(教育功労) ながら幼稚園長 渡邊壽男(9期)
 - ◆平成23年1月12日 受章
 - 紺綬褒章(岐阜市図書館に寄付) 福田電気工事(株)代表取締役 福田久雄(2期)
 - ◆平成22年 東海国立硬式野球 岐阜大学初優勝 福井雅一 監督(28期)

恩師からの 熱い思い出

開拓者の精神

井尾 春雄



さて、私は長良高在職は、昭和五十二年から昭和六十一年までの十年間、お世話になりました。

当時複数担任制で、二年生の担任として、鈴木毎幸先生と一緒に持ちました。生徒と各教科の勉強の仕方、大学志望の決め方等よく相談に乗りました。そして本校としては、最初の東北への修学旅行の年でした。一クラスを四つの班に分け、前班出発の班を二つ、後班

世界の道の新たなるを

三輪 喜久子



風光明媚な地にある長良高校に、昭和五十三年から平成五年までの十五年間、私は勤務させていた

しさと偉大さに、みんなしばらく引き込まれ、じつと立ち続けて眺めていました。

一昨年のメインホストであった第三十期卒業生の目下部章君、所浩史君、中保悦子さん達が毎年学年同窓会を開いて、恩師を囲んで三十年余り続いています。私も毎回出席

も二つに分け、それぞれ少人数グループで出発しました。仙台市内、毛越寺、中尊寺、蔵王と歴史的に深い景勝地や自然美が溢れる山々に訪れることができましたが、宿泊地が四つに分けられ、少人数となり静かであったが生徒達にはやや淋しい宿泊でした。しかし一人一人が役割をしっかりと把握して行動を取ってくれたので、何の問題もなく楽しい修学旅行ができました。

たことを思い出しました。中尊寺に入って、参道の途中の静まりかえった森の中に『静けさや岩にしみいる蟬の声』の芭蕉の句碑を見て、みんな感動しました。また蔵王の「おかま」の自然の美

だきました。それは後半の教職生活の大部分でもあります。赴任した翌年には共通一次試験が始まって大学入試が抜本的に改革され、大学入試センター試験に移行し、高校入試も学校群制度が無くなりました。その頃から東北や中国地方に行っていた修学旅行がスキー研修旅行になり、勉強とスポーツの両

を過ぎようとしています。卒業生の皆さんの益々のご活躍を心から祈念しております。

『あおげば金華山』

大平 隆司 (32期)

締め切り日が近づき後悔の念がわき上がる。『ながれ』の原稿をなぜ引き受けてしまったのだろう。こんな大それたことを。平成二十二年十二月下旬、この『ながれ』の原稿執筆の話をお願いされた。断りたいが、三十二期で原稿の執筆を誰かに依頼しなければいけない。断れば、また困るだろうなあ。

そんなこんなで引き受けた原稿。しばし幼稚な文章にお付き合い願いたい。小生、足かけ十年の間、長良高校に登校・通勤した。高校生として三年間、教員として七年間である。当時、同期四六〇名の卒業生がいたが、その中で、十年間長良に通ったのは、私一人。ある意味無量

にしてきたことになり、年賀状などで近況を知らせていただいたり、同級会に招いていただいたりもして、皆様がさまざまな分野で活躍なさっているのを知り、とても嬉しく思っています。近くでは役所や病院や薬局を始めいろいろなところで「先生」と声をかけていただき、有難くお世話になっています。

さて、今や中東やアフリカの政変のみならず世界中の変動が、日々の我々の生活に直結しています。

長良高校です。卒業生の皆さんの益々のご活躍を心から祈念しております。

年前の名残と思われる箇所があるところの話をすると、自分で確かめに行ってきたと話かけてくれた生徒もいる。長良高校は、昔から人なつこい生徒の集まりなのだろう。七年の在勤中には、三十二期(同期)のお嬢さんを担任させていただいた。最初、お嬢さんご本人から話を伺い、びっくりするやら、恥ずかしいやら、決して、良い担任ではなかったと思うが、ご容赦願いたい。

さて、昨年の暮れにNHKの紅白歌合戦を見た。何年ぶりだろうと感じながら見ている。そんな中で、司会のグループ「風」が歌う場面があった。『ふるさと』という曲である。

ひたむきに時を重ねたいを紡ぐ人たち一人ひとりの笑顔がいま僕のそばに巡り逢いたい人がそこにいるやさしさ広げて待っている山も風も海の色も一番素直になれる場所

小生、この曲を聴いてから、メロディーが頭から離れずにいる。それ以来、この原稿の執筆のこともあり、時々、卒業アルバムを開いた。そこには、昔懐かしい顔が並んでいる。同期四六〇通りの長良高校。現実には、すでに他界した友もおり四六〇通りの想いを語れない悲しみもある。小生の思い出も、いろいろ頭に浮かんで消えるの繰り返し。そのとき、ふと高校時代の友人とのメールのやりとりを思い出した。高校時代の思い出話をするうちに、些細な

こと(と、小生は思っていたのだが)で意志の疎通がうまくいかず、『高校時代、必ずしも部活動や仲間との楽しい思い出ばかりで満たされている者ばかりではない。』という苛立ちの中のメールを受け取った。その通りであろう。それも、『四六〇通りの長良高校』であると思う。冒頭、『大それたことを...』と書いたのは、まさに、このことが頭にある。会員二百有余名を超す同窓会の会報に原稿を載せることを、今更ながら恥ずかしいと思つた。小生は「小生の長良高校」しか知らないのだから...。この六月同窓会総会が開催される。多くのみんなに参加して欲しい。『三十二期それぞれの長良高校』を語り集めて欲しい。また、ホスト期に関わらず、年代を超え、多くの人々に集まって欲しい。そして、皆さんで『校歌』を歌いませんか。必ず歌えます。小生、二十二年ぶりに校歌を長良高校の体育館で聴いたとき、歌えました。歌詞を見ないで歌えました。きつとみなさんも歌えます。歌うことで、『それぞれの長良高校』を思い出すことができます。そこには、楽しい思い出ばかりではないかも知れませんが、校歌を歌うことで、ささやかな記憶もあると思つますし、その中にはきっと良い思い出もあるはず。校歌は、ひたむきに時を重ねていても、口ずさむことで高校時代に戻してくれます。もう一度、校歌を歌いませんか。『あおげば 金華山 ひとり輝き...』と。

同窓生

だより

長良高校を卒業して

佐野 明人 (32期)

まず、東日本大震災により被害を受けた皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

私は、雨の日も雪の日も、自転車で片道四十分ほど掛けて、郡部から長良高校に通いました。大変ではありましたが、素晴らしい環境の長良高校で学べたことは、誇りに思っております。

先生方にもご出席頂き、よく同窓会を行っておりますが、懐かしい話でいつも盛り上がっています。

友は何かあるときはいつも力になってくれますし、父の葬儀には皆来てくれました。

現在、名古屋工業大学で教授としてロボット工学を教え、知的探究心の赴くままに研究を行っております。あるものはかにも単純で美しく、あ

るものはその原理を聞けば聞くほどその絶妙さに驚かされる、そんなものを世の中に送り出したいと考えています。

最後に、長良高校と同窓会がこれからも輝き続けることを卒業生の一人として願っています。



ギネス世界記録に認定

「夢に向かって

アメリカへ！」

藤井 豊文 (32期)



会い等々、とても充実したものでした。そして当日の期待を裏切らない楽しさ。卒業してからもずっと付き合うことになる親友との出会いも懐かしい思い出です。

私は一九九七年から家族で渡米し、ヤマト運輸の現地法人社員として、NJの本社を拠点に全米を飛び回っています。

海外に住んでみると、日本の長所短所が良く見えてきます。在校生の皆さんも、もしチャンスがあれば積極的に海外に出かけられることをお勧めします。

在校生の皆さんにお伝えしたいことは、高校生活には楽しいことだけでなく、むしろ嫌な事や辛い事もたくさんありますが、それらは皆今しか

「葉」への思い

河口 英子 (32期)

(旧姓 西尾)



私は高校在学時、あまり目立たない存在で、担任、書道部顧問の先生以外には私の印象は薄かったと思います。

こんな私ですが書道だけは続け、二十代で師範を取得し開塾致しました。現在は塾生の方に、毛筆の他、ペン、筆ペンの指

今、感謝の気持ちを伝えたい

柿澤 紀子 (32期)

(旧姓 山田)

「おまえはチビだから、高校は陸上にして。」と中学のバスケット部の顧問の先生にダメ出しされ、高校の陸上顧問の田原先生に熱心に誘われ、なんとなく陸上部に入りました。

みなで心を一つにして戦うバスケットに比べ、陸上はただ黙々と毎日走る走る。いったい何が楽しいのだろう。と疑問を感じながら参加していました。

陸上部の先生や仲間にも恵まれ、「練習の最後バスケがやりたい。」と言え、一緒にやってみたら

え、「毎日同じ所ばかり走ってつまらない。」と言え、田原先生が短パン姿で千鳥橋、藍川橋のコースを一緒に走ってくれました。

こうしてみんなに温かく支えてもらいながら練習していくうちに、自己記録を更新し、県大会・東海大会出場ができるようになった。陸上が「楽しい」と思えるようになった。

その気持ちを胸に大学でも陸上部に入りました。思いもよらぬ厳しい練習や人間関係の難しさなど、

自分甘さに打ちのめされることばかりでした。しかし、長良高校で学んだ「陸上の楽しさ」が、心の支えとなり、大学での恩師中尾監督との出会いもあり、国体や国際大会への出場も成し得ることができました。

被災地へ届け!

戸本君へのエール

三十二期実行委員一同



会を楽しみにしていた一人である。日本中の誰もが「今自分に出来る事」を自問自答したこの非常時に、君は持ち前の責任感で活動しているであろう。そんな君を皆が誇りに思っている。

「トモジ、君の分まで皆で同窓会の成功に向けて頑張る。君は三十二期を代表して、被災者のために頑張ってくれ! くれ! くれ! がんばれ! トモジ! がんばろう! 日本!!」

東日本大震災の翌日、まだ被害の全容が掴めない段階から先遣隊として被災地入り。当初は不眠不休に近い救助作業に従事。今でも毎日復興に向けて活動を続けているという。もちろん、家族は岐阜に残したままで、震災が無ければ、実行委員として、今年と同窓

来年度メインホスト 第33期生 (S56年度卒) のみんなへ
来年度の総会・懇親会の運営は、私達33期生が行います。平成24年度は6月の予定です。現在33期の幹事は長屋邦良・各務克朗・田中恭司です。一人でも多くの協力者が必要です。一緒に手伝って頂ける方は下記までご連絡下さい。

- 長屋 邦良 TEL.080-6973-4316
- 各務 克朗 TEL.090-4860-5401
- 田中 恭司 TEL.058-231-1173

『思 い』

廣田 泰夫 (12期)



私達十二期同窓生一同は、来年には喜寿を迎える年齢になりましたが、新聞のスポーツ欄を目にしながら、米粒程に、録音機も折り返し、長良川の堤防を走り、一年生の時には我がクラスが優勝した事、インターハイ等で新聞を賑わした諸先輩を始め諸子の活躍が思い出されず。私は当時、放送部へ入部しましたが、諸設備の備品等の進歩には目をみはるばかりであります。入部当時は録音テープと云えば、紙製のテープを使用しており、半年程で現在と同じ様な樹脂製のものに移行していったと

思います。テープもカセットテープでなくオーディオのリールのもので、直径十五センチ、二十五センチ程の二種類を使用し、レコード盤と云えば厚さ二ミリの程の瓦製の円盤のようなもので重量もありましたが、やがて合成樹脂製の軽いものに、又マイクプロフォンは大きいジャガイモ程の大きさから、米粒程に、録音機も小型トランク位の大きさから携帯電話程の軽さへと大きさに変化していき、その記録方法も録音テープは姿を消し、わずか手の爪の大きさのカードに長時間録音可能となつてしまひ、過去の物は使用に大変不便になり、捨てるに捨てられず、もったいないからと手元に置いておくと、全く新しい方式に不具合が生じてゴミと化してしまひます。どの時点で見切りを付けるか変な事で悩んでしまひます。しかし時にはラッキーな事もあり、私自身三十年間探し続けていた物がありません。それは、リカルド・サントス楽団の演奏している勸進帳と云う曲目のレコードでした。最近になって、オーディオでCDでもって早速取り寄せる事が出来、LPレコード盤をよくぞ再生してくれたものだと、驚きと喜びを味わっています。ゴミのようなものでも諦めなかつたのが幸いしたようです。古いもの、新しいもの、自分の手で触りながら失敗を恐れず動かし、今の時代についていき、周囲に迷惑を掛けないよう努力している日々であります。

図書館の思い出

中川 裕子 (42期) (旧姓 江崎)



朝、司書さんの出勤を待ちかねて、図書館の鍵が開くと同時に飛び込む。そんな生活を高校三年間、続けておりました。四階の一番端にある図書館は、一年生の時ならばともかく、三年生にもなるとなかなか遠いのですが、その代

わり空にいちばん近い窓から見える光景は、私のお気に入りでもありました。カウンターの前にいらつしやる司書さんと、とりとめもなく話をし、その時の気分が合った本を紹介していただいたりして読んでいました。時には何という目的もなく、書架の間をさまよい、目にとまったタイトルを見つけては取り出して眺めることもありました。こう書くとう当たりしだいに読んでいたようにも見

『楽しかった』高校生活

小池 恵理子 (37期)



長良高校を卒業して、二十五年が過ぎました。

私の高校生活は『楽しい』の一言につきました。特に三年生の時は、担任である尾関孝彦先生を中心に、団結力とパワーあふれる女子クラスの中、充実した学生生活を過ごすことができました。現在でも先生や友人とは楽しく交流させていただいています。

また、私の勤務する病院には、多くの長良校卒業生も活躍しています。日々、共に現場で、チーム医療を行うことができる喜びと充実感を感じています。共通して言えるのは、長良校卒業生は、まじめで心優しい責任感のある医療者ばかりであることです。私にとって、長良高校は、かけがえのない大切な母校であり、原点であります。長良高校の卒業生であることを誇りに、今後も看護師として、ひとりの女性として、多くの患者様に寄り添う看護を大切にしたいと考えています。

プレ・チャンチャン同窓会

岩田 信男 (22期)

今年の二月、今回の同窓会メインホスト期幹事の方から「ながれ」の原稿依頼を受け、私達二十二期生が幹事を務めさせて頂いて丸十年が過ぎたことに改めて気付かされました。早いもので私達も本年には還暦。サラリーマンにとってはそろそろ定年退職の時期を迎える年代に突入してしまいました。

最近ではリーマンショック、トヨタショックの後の大不況からは少しばかり館に勤務しております。日々山のように出版される本の中から、これぞと思うものを蔵書に加え、そして利用者が生徒に薦め紹介してあります。そのときには常に「この本は誰かの『生涯の一冊』になりそうなのか? 誰かの知的好奇心を満たすような図書館であるか?」自分に問ひかけながら本を選び、言葉を選ぶ努力をしています。

「長良旋風」

恩田 真規 (60期)



卒業してから二年が経つのかと、ふと月日の早さを感じています。私の高校生活は、まさに勉強と部活動にひたすら取り組む日々でした。特に、中学から引き続き熱意を注いだ陸上競技では、「長良旋風」を部の目標に掲げ、毎日ひたむきに練習に取り組みました。私の中で思い出に残っているのは、陸上部の冬の練習の名物であった雄総の神社の横にある坂での練習です。約百メートルの坂を駆け上がる練習ですが、とても辛かったのを覚えています。その日はお弁当も油っこい物を控え、毎週万全の態勢で部活に臨んでいました。朝から憂鬱な思いで一日を過ごしたものでし

たが、練習がきつければきついほど、やり終えた時の達成感と、すがすがしさは何とも言えないものでした。また、岐阜県大会に出場する機会をいただき、より高い舞台でパフォーマンスをすることができ、新たな目標を見出すことができました。今思えば、陸上部の仲間と共に過ごした高校生活は、私にとって何事にも代えがたい時間であったと誇りに思います。私は今も進学先である中京大学で日々、陸上競技に励む毎日です。高校時代に感じた学んだことはもちろん、ここでの貴重な経験や自信は、これから社会に出るにあたって、必ず私の大きな糧となり、財産になると思います。

最後に私をここまで育ててくれた家族、恩師に感謝すると共に、長良高校の在校生に負けないよう、私も精いっぱい社会に貢献できるように頑張ります。



広い東京で突然の再会

関東支部長 林 徹也 (9期)



長良高校を卒業し、友

達共離ればなれで私は大
学を卒業後、品川で自動
車関連の仕事で義父と経
営して二十年以上が経過
したある日、バイクがパ
ンクして困って工場に入
って来たのが小・中・高
一緒の堀喜七郎君で、話
をするに住まいも近所!

九期会 成田方面散策記

小西 省司 (9期)



九期会行事の一つ〇〇
〇の散策は、今回で五回
目となる。関東地区では
よく知られている千葉県
の成田方面散策を計画。
成田と云えば、成田国際
空港、成田山新勝寺が有
名である。今回は以前迄
と異なり、現地集合、現
地解散ではなく、品川駅
前ロータリーに集合し、
二台の車に分乗(十一名

参加、一名当日欠席)し、
高速道路で約一時間程に
ある成田空港に隣接する
「さくらの山公園」へと
向かう。春のシーズンに
桜木が沢山あり、とても
綺麗なところである。飛
行機が滑走路より飛び立
ち頭上を飛び行く光景に
出合う。記念写真を撮り、
次の目的地成田山新勝寺
へと向かう。関東では超
有名な寺で、広大な敷地
にあり、山門も立派にな
り、より壮大な様でした。
参拝を終る頃には足は
重く、又、腹の虫も鳴き
始め昼食することに。創
業寛政十年(1727)に成
屋にて食事。余程腹が空
いていたのか美味しそう
にうなぎ(蒲焼)をせっ
せと口に放り込む。食べ
終わると又大きな声でお
しゃべりが始まる。年は
取っても口は達者だ。お
しゃべりは車の中で続け

以来ゴルフや家族付き
合いをしています。又、
数年前JR高田馬場駅で
地下鉄に急ぎ飛び込んだ
ら、入口で土井くに子さ
んにバツタリ!以来九期
卒業生の集まりを毎年計
画し、堀君、土井さんが
今年は二十名が集まって
昼食を兼ねて近況報告会
を予定しています。私は
関東支部長として、この
集まりの良い九期生を中
心に長良高校関東支部総
会(約八十名参加)や幹
事会(約三十名参加)を
隔年に開催していますが、
毎回社会長や校長先生達
にも参加していただき、
感謝いたしております。又
関東在住のOBの皆様
一度関東支部総会への参
加をお願いします。岐阜
弁でどうぞ!

「夢を掴むまで」

長良高校三年 吉田 なな美

私の乗馬歴は十年以上。
国体優勝という夢を手に
するまでの過去を振り返
ると、たくさんの記憶が
蘇ってきます。
私の両親は、乗馬関係
の仕事をし馬術の競技会
にも出場していたため、
私はいつも近くに馬がい
るといふ環境で育ち、ま
るで馬は家族のような存
在でした。様々な競技会
に応援する立場として行
き、活躍する選手たちを
見ながら「いつかあんな
選手になりたい」「多く
の人々から拍手や声援を
浴びたい」と小さいなが
ら憧れていた当時を、今
でもよく覚えています。
私が本格的に競技とし
て馬術を始めたのは小学
校に入学した頃からでし
た。昔から恐がりであっ
た私は馬に乗って走った
り、障害物を跳び越える
のが本当に恐く、涙ぐむ
日が続きました。練習
を怠ることなく馬上での
恐怖心を取り除き、バラ
ンス感覚や柔軟性をつけ
る努力をしていました。
小学四年の冬、競技中に
落馬をし右腕を骨折する
こともありましたが、回
復後再び練習に励み、な
かなか消えることのなか
った恐怖心が徐々に消え
ていきました。すると大
会でも上位になることが
増え、小さい大会ながら
優勝することの喜びを感
じることができたのです。
中学生になり成績が安
定してきた頃でしたが、
自分自身の体が成長する
につれ人馬のバランスが
思っているようにならず
成績は不調。感覚だけで
は通用しないことを学び
ました。それからの練習
では日々技術面にこだわり
続け、その結果成績も安
定し大きな大会に出場す
る回数も増えていきました。
様々な困難を乗り越え、
克服してきた私でしたが、
大きな大会に出るようにな
り最も苦労したことは
精神面を鍛えることでした。
期待の声が大きいが
ど実力を発揮することが
できません。期待の声を
自らの力に換えることが、
私の最大の目標となりま
した。そして皆さんの
経験を重ね高校最後の
舞台である国体を迎える
ことになったのです。
パートナーが決定し国
体までの半年間は毎日の
ようにコミュニケーション
の練習を重ね、お互いの
信頼関係を築き上げてい
きました。本番当日の私
に対する期待の声は、自
分の中に強く響くもので
した。自分の今まで積み
上げてきた力を信じ、共
に頑張ってきた愛馬を信
じ、落ち着いて全ての力
を出し切ろうと競技に挑
みました。そして優勝す
ることができました。幼
い頃からずっと憧れて
きた大きな舞台、国体で
の優勝。拍手の音で包ま
れたあの時間を私は忘れ
ることができません。夢
を叶えることができました。
親や家族、ご声援をいた
だいた周りの皆様の存在
がいかに大きなものであ
ったかを改めて感じてい
ます。日々の努力、多く
の方々への支え、そして愛
馬プリンセス・ネーブル
の存在があったからこそ
成し遂げられた優勝でした。
今後とも、さらなる目
標を掲げ、それを達成す
べく頑張っていきたいと
思います。

平成22年度 部活動実績一覧

(県大会以上 団体：ベスト16以上 個人：6位以上 (平成22年4月~23年3月))

祝 吉田なな美 第65回国民体育大会 馬術競技会 少年標準障害飛越 優勝

Table with 4 columns: 部活名, 大会名, 種目名, 成績. Includes categories like 陸上競技部, 水泳部, 県選権大会, etc.

Table with 4 columns: 部活名, 大会名, 種目名, 成績. Includes categories like 柔道部, 剣道部, 野球部, サッカー部, etc.

Table with 3 columns: 部活名, コンクール等名, 成績. Includes categories like 美術部, 書道部, 演劇部, etc.

Table with 3 columns: 名称, コンクール等名, 成績. Includes categories like 空手道, 馬術, etc.



ゆめ半島 千葉国体 第六十五回国民体育大会 馬術で優勝 吉田なな美さんの勇姿

注意!! 長良高校同窓会... 宿先等の電話番号を聞いて... 長良高校同窓会では、住所等の問い合わせは、この「ながれ」のみです。

オリジナルTシャツと校歌CD 総会会場販売!! オリジナルTシャツ ●1,500円 校歌・金華の峰CD ●1,000円

平成23年度入試 大学・短大・専門学校等合格状況

<国立大学>

大学名	学部	合格者数		
		現役	既卒	合計
山形大	工	1		1
山形大	理		1	1
埼玉大	経済	1		1
埼玉大	経済	1		1
横浜国立大	工		1	1
上越教育大	学校教育	1		1
金沢大	人間社会	1		1
福井大	工	1	1	2
信州大	工	1		1
信州大	農	1		1
信州大	理	1		1
岐阜大	医	3		3
岐阜大	教育	9		9
岐阜大	工	14		14
岐阜大	地域科学	6		6
静岡大	工	2		2
静岡大	人文	3		3
愛知教育大	教育	1		1
名古屋大	経済	1	1	2
名古屋大	工	2	1	3
三重大	教育	3		3
三重大	人文	1	1	2
滋賀大	経済	1		1
大阪大	工		1	1
神戸大	経営		1	1
和歌山大	経済	2		2
島根大	生物資源	1		1
広島大	教育	1		1
鹿屋大	体育	1		1
合計	合計	60	8	68

<公立大学>

大学名	学部	合格者数		
		現役	既卒	合計
静岡文化芸大	文化政策	1		1
静岡県立大	経営情報	1		1
静岡県立大	国際関係	1		1
愛知県立大	外国語	4	1	5
愛知県立大	看護	1		1
愛知県立大	教育福祉	1		1
名古屋市立大	経済	2		2
名古屋市立大	人文社会	2		2
滋賀県立大	環境科学	2		2
奈良県立大	人間文化	2		2
尾道大	経済情報	3		3
合計	合計	36	2	38

大学名	合格者数		
	現役	既卒	合計
国公立大学	96	10	106

<私立大学>

大学名	学部	合格者数		
		現役	既卒	合計
法政大	大	3	2	5
東都大	大	1		1
武蔵野大	大	3		3
明治大	大	4	1	5
明治大	大	4	3	7
立教大	大	1		1
立正大	大	2		2
金沢大	大	17		17
北陸大	大	1		1
福井大	大	2		2
岐阜女子大	大	8		8
岐阜聖徳学園大	大	36	2	38
中京大	大	4		4
東海大	大	7		7
中部大	大	4		4
岐阜医療科学大	大	17	17	34
愛知学大	大	29	6	35
愛知学大	大	27	2	29
愛知学大	大	9	1	10
愛知学大	大	41	2	43
愛知みずほ大	大	1		1
金城学大	大	10		10
福山女学大	大	21		21
大同大	大	3		3
中京大	大	100	5	105
中京大	大	1		1
東海大	大	50	3	53
東海大	大	5		5
東海大	大	1		1
名古屋外大	大	14		14
名古屋学大	大	5		5
名古屋学大	大	1		1
名古屋学大	大	7		7
名古屋学大	大	3		3
名古屋学大	大	9		9
名古屋学大	大	3		3
南山大	大	47	6	53
日本福祉大	大	5		5
藤田保健衛生大	大	6	1	7
豊橋創造大	大	93	5	98
名古屋文理大	大	1		1

<私立大学>

大学名	学部	合格者数		
		現役	既卒	合計
東福社大	大	2		2
城西大	大	1		1
桜美林大	大	1		1
学習院大	大	1		1
北里大	大		1	1
慶応大	大		1	1
國學院大	大		1	1
順天堂大	大		1	1
専修大	大		1	1
創価大	大	2		2
大東文化大	大	1		1
大東文化大	大		3	3
大東文化大	大	1		1
多摩大	大	2		2
多摩大	大	2		2
帝京大	大	2		2
東海大	大	2		2
東京工大	大	2		2
東京理大	大		2	2
日本文学大	大	2		2
日本獣生大	大	1		1
日本体育大	大	1		1

<公立大学>

大学名	学部	合格者数		
		現役	既卒	合計
岩手県立大	ソフトウェア	1		1
高崎経大	経済		1	1
横浜市立大	医	1		1
富山県立大	工	2		2
金沢美術工芸大	美術工芸	1		1
福井県立大	看護福祉	1		1
都留文科大	文	1		1
岐阜県立看護大	看護	7		7

<私立大学>

大学名	学部	合格者数		
		現役	既卒	合計
名城大	大	1		1
名古屋学芸大	大	4		4
皇學館大	大	3		3
長浜バイオ大	大	1		1
聖泉大	大	1		1
京都産業大	大	1	1	2
京都女子大	大	4		4
京都精華大	大	2		2
京都橋大	大	1		1
同志社大	大	4	7	11
同志社女子大	大	5		5
佛教大	大	1		1
立命館大	大	9	3	12
立命館大	大		2	2
龍谷大	大	1		1
大阪芸大	大	1		1
大阪体育大	大	1		1
関西西大	大	2	2	4
近畿大	大	1		1
四天王寺大	大	2		2
関西学院大	大	1		1
神戸学大	大	1		1
立命館アジア大	大		1	1
合計		670	65	735

<国公立短期大学>

短大名	合格者数		
	現役	既卒	合計
岐阜市立女子短大	21		21
合計	21	0	21

<私立短期大学>

短大名	合格者数		
	現役	既卒	合計
岐阜聖徳学園短大	4		4
岐阜保健短大	1		1
平成江南女子短大	4		4
愛知江南女子短大	2		2
愛知文教女短大	2		2
名古屋屋短大	2		2
愛知きわみ看護短大	2		2
合計	17		17

<各種専門学校>

学校名	学部	合格者数		
		現役	既卒	合計
朝日大歯科衛生	大	1		1
岐阜県立衛生専	大	2		2
あじさい看護福祉	大	1		1
まつかけ看護福祉	大	1		1
愛知総合看護福祉	大	1		1
愛北看護	大	1		1
一宮市立中央看護	大	3		3
岐阜県立下呂看護	大	1		1
日本中央看護	大	1		1
尾北看護	大	1		1
名古屋ゲームデザイナー学院	大	1		1
愛知県総合看護	大	1		1
岐阜市立看護専	大	10		10
名古屋中央看護	大	2		2
名古屋医附看護	大	2		2
名鉄看護	大	4		4
辻製菓師	大	1		1
名古屋コミュニケーションアート	大	1		1
天理看護学院	大	1		1
名古屋医専	大	1		1
トヨタ名古屋自動車学校	大	1		1
岐阜工業	大	1		1
東海美容	大	1		1
トライデント	大	1		1
大原簿記学校	大	1		1
合計		43		43

<進路先まとめ>

進路先	合格者数		
	現役	既卒	合計
国立大学	59	6	65
公立大学	30	1	31
公立短期大学	203	18	221
国立短期大学	6		6
私立短期大学	7		7
専門学校	23		23
就職	1		1
浪人	21		21
合計	350	25	375

退職・転出・転入された
教職員・事務員の方々

教職員

柴田益孝 (校長・保健)
高畑ひとみ (音楽)

転出

後藤ひとみ (国語) 武義
河村嘉生 (数学) 各務原西
立川茂 (数学) 各務原
梨本陽司 (理科) 山原
石神政幸 (英語) 県教育委員
会 学校支援課 課長補佐
栗原利樹 (英語) 大垣西
水船晶子 (養護) 各務原
市立那加中

転入

窪田範男 (校長・数学)
華陽フロンティア (定) 校長
栗津薫 (国語) 本巣松陽
山田昭典 (数学) 羽島北
伊藤潤 (数学) 岐阜城北
齋藤昌彦 (理科) 県教育
委員会 教育研修課 課長補佐
(サイエンス) フォード派遣
堀佳代子 (英語) 岐阜農林
小見山純一 (音楽) 益田清風

新規採用

桃瀬優 (数学)
五島興 (英語)
*以下六名常勤講師として勤務
福野衣里子 (国語)
駒瀬衣里子 (国語)
大野克史 (数学)
上畑将 (情報)
内山モ、子 (理科助手)
下條友子 (養護)

事務職員

細野みち子 (主査・学校司書)
田中八重子 (業務専門職)
山田久美子 (課長補佐)
岐阜北・事務長補佐

転入

尾関貴理子 (主査・学校司書) 県教育委員会 教育
研修科 研修企画担当 主査
(兼・学校支援課)
前川裕美 (主任) 岐阜各
務野・主任
林泉 (業務専門職)

その他

藤吉一仁 (事務長) 学校
事務主幹へその場昇任 (課
長級)